

スラックラインとは



NHK沼にハマってきいてみた



au



杏林製菓



世界売上NO1!GIBBONクラシックライン

話題のNEW LIFE SPORTS!

最近テレビや新聞報道などで見たことがある方も多いのではないのでしょうか？

歴史の浅いスポーツでありながら、ここ数年で爆 的な知名度を獲得した「スラックライン」。

トップ選手はテレビ番組やコマーシャル出演のオファーも絶えません。

ただ、実際に現場で見たことのある方や体験したことのある方とは、まだまだその数は少なく、新しい注目スポーツです。

スラックラインの起源は定かでは ありません。

「綱を渡る」という単純な遊びとして見れば、古代にその誕生の兆しをうかがうことができます。

現代の形に近づいたのは、60年代クライミング創成期のアメリカで、クライマー達の暇つぶしの遊びとして姿を現したロングラインやハイラインです。

現在のフリースタイルスラックラインは、2007年にドイツ・シュトゥットガルト (STUTTGART, GERMANY) においてGIBBON社創始者であるロバート・ケイディングが5CM幅のラインを簡単に設置するためのラチェットコンセプトを取り入れ、しかも街で広めたことで一気に広がり、ヨーロッパ中を席卷しました。

2010年ドイツ・ミュンヘン市で世界初のワールドカップが開催されました。2012年2月のスーパーボウルのハーフタイムショーでパフォーマンスしたマドンナのバックに登場したのがギボンのアンディ・ルイスでした。日本への上陸は2009年、その競技人口は爆発的に広がり、翌2010年10月には東京・豊洲で早くも初の全国大会「ギボン日本オープンスラックライン選手権大会」を開催しました。その後、日本のギボン社によって歴史を重ねられ、継続的に開催している国際大会としては世界でも最長を誇ります。

現在、世界で300万人を超える人々がスラックラインを楽しんでいるとされています。



2021年、第11回となる同大会を10月23・24日の2日間にわたり、東京・二子玉川で開催いたしました。
昨今日本選手は国際大会でも軒並み優勝を飾るなど目覚ましい活躍を見せています。



スラックラインの魅力



魅力はたくさんあります。ラインに乗っている時は前だけを見て自分のバランスに集中するので、遊び終わった時は頭がスッキリ、体は全身運動なのでプールで泳いだ後のような心地よい疲労感があります。コミュニケーションが自然と生まれる遊びでもあります。大人も子供も気づけば夢中になってしまう、そんなバランス遊びです。またさまざまなスポーツのトレーニングでスラックラインが使われています。ラインを掴み腕立て伏せをするとTRXトレーニングのように使えますし、ラインに乗りながらボールパスしたり、ミット打ちしたり、ほかの動作と組み合わせて使うことで、本来の動作で無駄な力みが取れるといった声もいただいています。言葉でお伝えするのが難しいです...やったことのない人には、まずやってみてほしい！

現在国内におけるスラックライン愛好者は5~6万人といわれています。教育現場でも導入が進んでいますので、今後さらに愛好者は増えていくと思われます。さらに日本人のプロのスラックライナーは海外の大会でも活躍しています。（TRICK LINE WORLD CUP 2022 in Stuttgart）男女ともに日本の中学生が優勝しました。

あそび方



あそび方：初めての方はラインを30cm程度の高さに設置し、手を繋いでもらってラインに乗ってみましょう。「ラインに片足をのせて立つ」これだけでも初めての方は足が自分の意思に反してプルプル震えます。「え！？なんで！？立つことすらできない！私はバランス感覚ないの?!」ときっと最初は思ってしまうのですが、コツを掴んで何回もトライするとあら不思議。自転車のように一度ラインに乗れるようになると、ずっと乗れます。楽しさも増しているろんなポーズや技にチャレンジできます。

コツ1：両手は上に上げる コツ2：足の向きはまっすぐ コツ3：下を見ないで前を向く